#### 告 示

# 埼玉県告示第千百五十八号

の一部を次のように改正し、公布の日から施行する。平成十一年埼玉県告示第千五百八十八号(埼玉県環境影響評価技術指針について)

平成二十七年十月十六日

埼玉県知事 上 田 清 司

第一の三 (一) エ中「�」を削る。

第

	1		
	_	環境への負荷の量の	廃棄物等
		程度により予測及び	
		評価されるべき項目	
水	を		温室効果ガス等
* 8			
物質*9	-	一般環境中の放射性	放射線の量
		物質について調査、	
		予測及び評価される	
		べき項目	

		第一	放射	オベ	<b></b>	雨水	残土	廃棄物
に改める。	文化財その他   文化財その他   一般環境中の	第一の別表二中 女化財その他の生活環境の状況	放射線の量	オゾン層破壊物質*9	温室効果ガス*8	雨水及び処理水		梦
	文化財その他の生活環境の状況 般環境中の放射性物質に係る環境の状況	活環境の状況			に改める。			

別表  $\omega$  $\vdash$ 環境影響要因 |と調査 • 予測· 評価の項目との関連表 (道路)

一般環境中の放射性 物質について調査、 予測及び評価される べき項目		評価されるべき項目	程度により予測及び	9			1	ス 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	全を言として調査、	やれめいの 無味及り 快適な生活 環境の保	人と自然との動かな			れるべき項目	西、予測及び評価が	及び自然機械の体料的は全体を	生物の多様性の確保															金、 下渕及 び評価されるべき項目	保帯や町として鱧	環境の良好な状態の														調査・予測・評価の項目			影響要因の区分	事業の種類
放射線の量	K	温室効果ガ		廃棄物等	D)	国海河南田田河南田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	1 日	3 3	史跡・文化	れあいの場	⊞-	景観		生態系	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	# #	動物		超級		C III	幸 片岩 岩	+		失験							火質	-						悪臭	競響	汝音	騒音・低周			大気質			項目				
放射線の量	オゾン層破壊物質	签	雨水及び処理水	残土	照無物	電波気信状光型の場合する	甲巻の大名	出版人方を	指定文化財等			景観資源)	景観資源(日	超域を特徴のける生態系	衛出及の末出 3 、4 年本	東田 マス 年 華	保全すべき種	表土の状況及び生産性	含む。)	地形及び地質	土地の安定性	中学である。	提別、水門、タム等十種に係る有害項目	温泉及び鉱泉	地下水の水位及び水脈	河川等の流量、	地 マベの		河河		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· /	溶		公共用水水	聯一年	11 4	生	特定悪臭物質	被害	低周波音	音麗	大気質に係る	粉じん	灰化水素	一 販 允 筅 寅 乂 ほ	二聚尤強素又					
	物質		1水		20 T- 5/202	2 8 4 4 4 3 3				しあいの場			景観資源(自然的景観資源及び歴史的	がる生態系	. 9 . 7 0 辛華	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	) Barb	び生産性		質(重要な地形及び地質を	133	II X	短辺、水門、タム等の施設 + 描に係る有害項目	A see - thrown	(及び水脈	t、流速及び水位	地下水の水質に係る有害項目	正質に係る有害物質等	1	対応変用 電トンガン夢カニウ 4に 1-8	健康項目等	の他の生活環境項目	溶存酸素量	水素イオン濃度	水道	年四七月里	华的酸素吸水血 《游麦油中	生物化学的酸素要求量又は化	X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	・神介の維用			気質に係る有害物質等			聚化氟黄义 (江氟黄聚化物)游粉子状物瘤	酸化窒素又は窒素酸化物		/	環境影響要因の例		
> * 6		0																																						0		0		0			△ * 1		○ 薬 適	建設機械		_
> * 6		0								▷				> *			▷																							0		0		0			> * 1		等の単向の走行	資材運搬	H	
> <b>*</b>		0		0						* 12				. 2	*	>	. 2			(	0				0											C												の除去	メは既存の日存物	如土工等	祭	
> * 6		0														6 46			0	)																												の設置	本一 一 本	工事用道		
																		0		(	0																												地表式			道路
						О	) C	)		0			0		*			△*4	C																														地下以	作		路
																		△ * 5		1	> *				0																								描巻式又は描下式		存在・	
																																																	路等の跡地の存在	東田東工	・供用	
		0								△ * 2				△*2	2 * 2	△*2	△*2																							0	△ * 3	0		(	0	0	0		走行	自動車の		
		0		(	Э									> * 2																						C		)											用	休憩所の		

<sup>○:</sup>標準的に選定する項目 △:事業特性、地域特性により選定する項目 \*1:都市的地域(市街化が進行している地域又はこれに増する地域。以下同じ。)の場合 \*2:自然的地域(森林、温地等多様な生物が生息・生育する地域その他自然環境の豊かな地域。以下同じ。)の場合 \*3:高線式で大型車の交通量が多い場合 \*4・盛土式の場合 \*5:超割式の場合 \*6:放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表 3 — 2 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(ダム又は放水路)

学業の進歴 影響製団の区分	最高の機能を表現を	建設機械 資材運搬 の製働 等の専同 の走行	ダム ダムの様 原石の採 体等の工 取	工事 道路の付 替え工事	   工事用道     経験機械   の数の数の数値   の数値	の袋袋が	立放木路放木路等の工事	ダムの堤 付 番の存在 器	付替え道 原る器の存在 跡の	存在・供用	供用 用道 貯水池の 地等 存在 住等 存在	10 グムの改 米	技术路 存在・供
大質質	二酸化蜜素又は蜜素酸化物 二酸化磷黄酸化物 焊遊粒子状物質 歧化水素				▷ *	*1   \( \times \) *1			+++	++	++	+++	
類	の の の が	0 0 0	D D D			0 0 0	0 0 0						
直摘の具体な状態の 保証を関づいる。 は、予算など時候の大変 ためへを送口 のなる送口	社会ののののの機能を乗べは代金の場合のの機能を乗りません。			0									0 0
米奈	可川等の流量、流速及び水位 地下水の水位及び水脈 組乗及び鉱泉 維防、水門、ダム等の施設		0				0	00			0	0	0 00
活 活 茶 茶 茶 茶 茶	土壌に係る有害項目 地盤化下 土地の設定性 土地の設定性 地形及び地質(重要な地形及び地質を 含む。) 終土の状況及び生産性		0	0				0	0		H		0 0
生物の多様性の 確保 動物 及び自然環境の 体系 的保全を旨として調 植物 並、予測及 び評価されるベき項目	保全すべき種 保全すべき種 保全すべき機 祖生及び保全すべき群落 級の最 地域を特徴づける生態系		0 0	0 0	00	>	000					0 000	0 0 0 0
人と自然との整かな 人と自然との整かな 人とわかいの確保及び自然とのみ 人はあいの確保及で自然との経 代達な出情報の保む入いの経 免を得として開業、以来、文化 十回及び評価される財 人を項目 概義等者	原義保護(自然的保護資源及び歴史的 発養課題) - 超減保護 の通 自然との会計がいの第 の連 自然の状態 - 日親女化財等 - 日親女化財 - 日親女状の - 日親女化財 - 日親女化財 - 日親女化財 - 日親女化財 - 日親女化財 - 日親女と - 日親女と - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日		· · ·				0				<del>                                     </del>	0 0	00000
機能への負債の権の 展展等等 機能によりで通及び 評価されるべき項目 観光効果ガー ・問題場中の飲食性 ・問題場中の飲食性 ・問題場中の飲食性 ・問題場中の飲食性 ・問題場中の飲食性 ・問題場中の飲食性 ・問題場中の飲食性 ・問題。	議議部 議議部 議議 議議 議議 議議 議議 議議 議議 表 1 日本 1		>	0 0	0	D *	0 00						
〇:標準的に選定する項	〇:標準的に遜定する項目 △:事業特性、地域特性により遜定する項目	. 1											

<sup>・ (</sup>常田町) 「福田 つ 単元 コ △ ・ 単東市社、 西東市社でより選手 単二 ・ 関係者の構造の基金 本 2 : 大規模が合成工等のある場合 ま 3 : 自然の指摘の基金 キ 4 : 放射体物質が指摘の基金 キ 4 : 放射体物質が指摘の基金

別表 3  $\omega$ 環境影響要因と調査・ 予測・評価の項目との関連表 (鉄道・軌道)

The Part of th	群かの業事								鉄道・軌道	画			
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	影響要因の区分			- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	件辦 結 報	( ) ( ) ( ) ( )	中 一	一 其 田 浴	*	な は で な で な か か か か か か か か か か か か か か か か	字在・供	<del>≡</del> ⊝	開金銀の存用
国際企業が大は職業的である。				张光芳 曹 风 区 2 7 7	の数値を変し	単の単の単面	3 又の上は正年年年 4 年 物本	1 年 年 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	3	1.3	整 武又	†	(駅周辺の交通車の増加や
一番化価値及びは無理機である   一番化価値及びは無理機である   一番化価値及びは無理機である   一番化価値及びは無理機である   一番化価値及び機   一番化価値及び機   一番化価値及び機   一番	査・予測・	<b>=</b>					の 深 : 北 :	の設置			9 E		含む。)
株式			二酸化窒素	又は窒素酸化物	△ * 1	△ * 1							△* 4
No.   No			聚允駕寅	义 ( ) 馬 東 聚 化 挖									
1. 代別 間			炭化水素										
議会・ (			おころ	7 大守 抗 群然	0	0							
(元)   (元			強いない。	е п 12 24 4	0	0						0	
###			医周波音									<b>△</b> * 3	
			要		0	0						0	
大政 (公共の大学 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (			<b>吳风描数</b>	は臭気の張皮									
(中の機能技術) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (			ì	生物化学的酸素要求量又は化									Э
			467 T 150	学的酸素要求量学游物質量			0						
				音素及び燐									
大政策				大前									
大学   (本)   (a)   (a)	保売の反答 なだ 類の 保帯 や声 プラー 魍魎		- I	7米14ノ最及谷存骸米重									
議議	関値な	水質	I v. I	その他の生活環境項目									
指揮	1		DJ PR	<b>建康項目等</b> 给数. <b>讲</b> 是									
			輝	酸カリウムによ									
提下水の   地下水の水炭に係る有害項目			I	<b>医質に係る有害物質等</b>									
新川等の演典、演進及び水原			下質の水の	地下水の水質に係る有害項目									
大楽   通常大の水化及び水原   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○			何川等の流										
上編			地下水の水	位及び水脈			0				0		
上端 上端に係る有害項目   1			堤防、水門	、ダム等の施設									
世			土壌に係る	有害項目									
世			世継の安定	<b>庄</b>			0		0				
表土の状況及び生態性			亜形及 び地 含む。)	(重要な地形及び地質						0			
###			表土の状況	び, 生					0		*		
(株金すべき様	生物の多様在の確保	影物	保全すべき	種						0		> * 2	<b>△</b> * 2
記載を特徴づける生態系	及び自然蝦夷の存尽を命令をでした誰	描述	来出すべる	4			>  > *   *	2 2		) C			
指数を特徴づける生態系	査、予測及び評価さ		量の最				ш			△* 1			
契機資源(目然的条拠資源及び歴史的)     ○       自然とのふ (2.めいの場)     「然とのふわあいの場」       上頭にすり     日然とのふわあいの場       日本で文化財等     日本で文化財等       日本の大記 (主職文化財)     日本の大記 (主職文化財)       日本の大記 (主職文化財)     ○       日本の大記 (主職文化財)     ○       日本の大記 (政業物)     ○       原業物等 (政業物)     日本の英生状況 (政業物)       原業物等 (政業物)     日本の英生状況 (政業物)       日本の英生状況 (政策の果ガス (政財線の量)     ○       公内第の登集が助質     ○       公本7 (公計報の量)     ○       公本7 (公計報の量)     ○       公本7 (公計報の量)     ○       公本7 (公計報の量)     ○       公本7 (公本7 (公本7)     ○       公本7 (公本7     ○       公本7 (公本7     ○       (公本7     ○ <t< td=""><td>れるべき項目</td><td>生態系</td><td>地域を特徴</td><td>づける生態系</td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td>△ * 2</td><td>△* 2</td></t<>	れるべき項目	生態系	地域を特徴	づける生態系			2			0		△ * 2	△* 2
原留表現			景観資源(景観資源)	. 目然的景観資源及び歴史的						0			
1	人と自然との豊かな	5 MF 12 00 2	挑望景觀							O			
世際・文化 指定文化財等	やれあいの 編保及び 快遍な生活 襲導の保	当然とのやこめいの場	自然とのふ	れあいの場		▷ *	2			0		-14-	
国際阻害 日歌の状況	金が置って調査、	世界・女化	指定文 代財 種様 中 / 中	樂						0			
佐藤	イ密及の平面 される		田家の共流							) (			
<ul> <li>國審</li></ul>			電波受信状	況						0 (			
展集物等 突上 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		L	局所的な風	の発生状況									
R	1		発集物										0
<ul> <li>直室効果ガ 国室効果ガス</li> <li>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</li> <li>ス等</li></ul>	荷の量の予測及び		現土関水及び処	<b>埋水</b>									
<ul> <li>&lt;単 インノ循条限的質</li> <li></li></ul>	べき項目		温室効果ガ	X X	0	0	0	0				0	0
	一般環境中の放射性		2 / 11 34	* 10 A									
1	物質について調査、予測及び評価される	胂	放射線の量		₩-	-₩-	*	*					
	人 改 風田		>	7. 大學院以上人們學學師 一面	Ä D			L					

 <sup>○ :</sup> 藤準的に遜症する項目 △: 事業特性、地域特性により選定する項目
 \*1: 都市的地域の場合
 \*2:自然的地域の場合
 \*3:列車が高速でトンネルに進入する場合(反対側のトンネルロへの影響)又は高架式の場合
 \*4: 著しい交通量の増加が想定される場合
 \*5: 盛土式の場合
 \*6: 掘割式の場合
 \*6: 掘割式の場合
 \*7: 放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表 3 4 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(飛行場)

					⊳ * ω	⊳ * 3	⊳ * 3	放射線の量	按	一般環境中の放射性 物質について調査、 予測及び評価される べき項目
					ı			<b>ゾン層破壊物質</b>	林	
0	0	0			0	0	0	温室効果ガス		評価されるべき項目
0					(			ラー 雨水及び処理水		発展により子道及び
C					0 0			120	類 類 類 類 類 数 数 数 数 数	前本 ( 台) 計ら 申ら
)					,			的な風の発生状況		
		0						信状況	電波障害 電波	
								日影の状況		べき項目
				0				埋藏文化財		予測及び評価される
				0				指定文化財等	水光	大園4円在 楽光の来
	0	0		0		0		自然とのふれあいの場	自然とのふ自然れあいの場	ふれあいの 編保及び 有油な年年 前車の年
				0				景観	眺望景観	人と自然との豊かな
				0				宋明成章 《日常·50次 明成 李久 》用 《50 景観資源)	景観景観	
	▷ * 2			0		0		超級を特徴のける生態系   単盤發道 / 日条的 単盤發道 15 4 kkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkkk	生態系 地域	e d j
				△*1						角、十週及び評価されるべき届日
				0	0			植生及び保全すべき群落	植物植生	的保全を旨として調
				0	0			すべき種		円を3多族田の電家及び自然機械の体系
	△*2			0		0		(水上の水の) 出風記 (保金する水価)	動物 保全	
				) (				) )	おいます。	
				)				地形及び地質(重要な地形及び地質を		
								:地の安定性	地臓 地域の下	
								土壌に係る有害項目		
								、水門、ダム等の施設		
								温泉及び鉱泉	水製温泉	
				(						
				Э				高量、流速及び水位	河川	
								ド 水の 地下水の水質に係る有害項目	- 基	
								広質に係る有害物質等		
								過マンガン酸カリウムに よる酸素消費量	底質	
								健康項目等	Γ	れるへき場用
								その他の生活環境項目	水質	報館な
								※ 茶イゴン液皮 浴存酸素量		薬児の民卒な状態の保持 や盲 とし て鯉
									技の大質	
									> ‡	
					0			浮遊物質量		
0								生物化学的酸素要求 量又 は化学的酸素要求量		
								特定悪臭物質	悪吳 特定	
						(	(	臭気指数又は臭気の濃度		
0						)	)	III		
C		C				C	C	排	新田・茂西 新田 新田・茂西 新田	
)	)	)				)	)	大気質に保る有害物質等	B =	
					0	0	0	λ	物に	
0		0						水湯	大気質 炭化水素	
								表		
0		0				0	0	酸化塗浆×は塗浆酸化物 酸化油苗∀は油苗酸化物	·	
飛行場	ヘリポート	飛行場	ヘリポート	飛行場	34)	(飛行場の場合のみ)	(飛			調査・予測・評価の項目
(周辺交通量の増加を含む。)		i	Ī		# 1	の車両の走行	葵			
飛行場施設の伊	用の運航	存在・供用	の存在	飛行場の存在	造成等の工	(全) (基) (基) (基) (基)	建設機械の	極の因用機能が重要		影響要因の区分
			飛行場							事業の種類

<sup>○:</sup>標準的に選定する項目 △:事業特性、地域特性により選 \*1:都市的地域の場合 \*2:自然的地域の場合 \*3:放射性物質が相当程度拡散・減出するおそれがある場合 △:事業特性、地域特性により選定する項目

別表3-5 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(工場・廃棄物処

理施設・下水道終末処理場)

事業の種類						1・齢工	工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場	施設・下オ	《道終末処:	供担				
影響要因の区分				<b>非</b> 工					存在	存在・供用				
		緑境影響財因の例	建設機械の複響	資本の選用の関連関連	造成等の工事(工場(指行面	造成地·施設 工場(推行面積	の存在	提 工 場	20年	施設の稼働	海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海 海	マ 大 単 歌		自動車等の走行
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	1			の走行	積20ha以上)及 び最終処分場)	上り、20ha以上)及び 最終処分場	į		対しお	· 超 · 切	お 中 河 河 田 河 田 河 河 田 河 河 田 河 江 田 河 江 田 河	末処理場	然后分揚	
		二酸化窒素又は窒素酸化物	0	0				0	0		0			0
		二酸化硫黄叉は硫黄酸化物 浮游粒子状物管						0	0		0			0
	大気質	炭化水素						0	(		(			0
		物じん	0	0	0								0	0
	原 小・ 作 田	大気質に除る相害物質等 騒音	0	)				) C	0 0	0	) C	)	0	0
	英语:	低周波音	1					0	0	0	0	0	0	1
	振動	摄影	0	0				0	0	0	0	0	0	0
	悪臭	具気指数又は臭気の濃度 特定悪臭物質						0	0	0	0	0	0	
		生物化学的酸素要求量又は化						0	> * 6	0	> * 6	0	0	
		子的政系类米国			0				0 * △	0	∆ * 6	0	0	
								0	△*6	0	△*6	0	0	
		数の水質											)	
後光の反対な次間の保持 や盲 イリ 八臓		※ が を と と と の は 以 ※ が な 参 映 申			0				> * 6	0	> > > > > > > > > > > > > > > > > > > >	0	0	
	水質	その他の生活環境項目							△*6	0	△*6	0	0	
e S		健康項目等						0	0 * €	0	△*6	0	0	
		通マンガン酸カリウムによる 酸素消毒量												
		底質に係る有害物質等						0	0		0		0	
		地下水の 地下水の水質に係る有害項目 水質						0			0		0	
		河川等の流量、流速及び水位				0						0		
	米岭	地下水の水位及び水脈			0								0	
		温米及い転米 提防、水門、ダム等の施設										0		
	土壌	土壌に係る有害項目						0	0		0		0	
	唐徽	地盤沈下												
	*	上地でメルロ 地形及び地質(重要な地形及び地質を			0 0	0 0	> * 12						0	
		表土の状況及び生産性				0								
三物の多様 性の確保	砂柳	保全すべき種		0		0	△*2						0	
5.05自然環境の体系10.00をよるに、10.00をあるに、10.00をある。	toly side	保全すべき種 特件なび担合ホイキ幹券			0	0	△ * 2						0	
対角は	100 100	第月及り戻出り、0.0字章 禁の順			C	> *	> * *						C	
れるべき項目	生態系	地域を特徴づける生態系		0		0	△ * 2						0	
	泉麓	景観資源(自然的景観資源及び歴史的 景観資源)				0	⊳ * 2						0	
、と自然と の豊かな						0	0						0	
ふれあいの 編家及び 音嫌さ年用 最番 の命	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場		0		0	⊳ * 2	⊳ * 2		▷ * 2	▷ * 2	▷ * 2	▷ * 2	
を留として調査、	史跡・文化					0	△ * 2							
(多項目	日 昭 昭 金	生				o (	× 0							
	電波障害	電波受信状況				0	0							
	風害	局所的な風の発生状況												
神事へらか 終ら申ら	拓崇等等	<b>廃棄物</b> 残土			0 0			0	0	0	0	0		
程度により予測及び		雨水及び処理水						0						
THE GATE TO THE SECTION OF THE SECTI	温室効果ガス等	温室効果ガス オゾン層破壊物質	0	0	0			○ <b>*</b>	× 0	0	≥ * 5	0	0	0
- 穀糜鏡中の放射性 勿質について調査、	事 日本	事の歌詩の	> %	> *	> *								> * ~	
予測及び評価される べき項目	W States	37 FW 07 III	4		4									
<ul><li>○:標準的に選定する項目</li></ul>	岩中る項目	○ : 事業弊件、重要弊件により業庁する項目	B B											

別表 3 — 6 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(高層建築物)

一般機械中の放射性物質について調査、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			評価されるべき項目	}⊤ ( < ∀	etin				べき項目	予測及び評価される	全を旨として調査、	快適な生活環境の保	べつ 目 窓 り ら 母 ぷ み ひ め い の 確 保 及 び	₽ ₩ ₽			れるべき項目	査、予測及び評価さ	的保全を旨として調	日本の主義の存出の存出を	年をの名辞 年の 確存																11、「32×0円 11の	保存を言って、題を 水道 みぎばん	環境の良好な状態の																調査・予測・評価の項目			形態状囚の囚力	単業の種類	
放射線の量	4	<b>単名来る</b> ス郷	が 重 収 岑 訳		廃棄物等	ij	通 (	電波障害	日照阻害	財	史跡・文化	れあい	自然とのふ		景観		牛熊系		植物		動物		<b></b>			<b></b> 掛盤	H 磁		*	÷							英質	100							悪臭	振動		低周	1		,	大奴賀			項目	/				
放射線の量	2、八面夜夜吃具	自出されるべ	温敏効果ガス	雨水及び処理水	残土	報用を	局所的な風の発生状況	電波受信状況	日影の状況	埋藏文化財	指定文化財等	世 ※ ( ) 3 4 7 8 7 1 3 2 1	中等でライオサンラ声	眺望景観	景観資源)	景観資源(自然的景観資源及び歴史自	地域を特徴づける生態系		植生及び保全すべき群落	全すべき	保全すべき種	表土の状況及び生産性	合也。)	芸成みび書館(伸聞な芸成みび芸館や	あの	地盤沈下	土壌に係る有害項目	堤防、水門、ダム等の施設		地下水の水位及び水脈	河川等の流量、流速及び水位	水質 地下水の水質に係る有害項目	苦し水の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	中間に係る有事物理集	底質 過マンガン酸ガリウムによ 勝恭当拳車	健康項目等	その他の生活環境項目	溶存酸素量	水素イオン濃度	対 光 注 ・	t-	浮遊物質量	生の酸素要求量	4.7.4.2.8.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	東 刈 指 数 丛 は 果 刈 の 譲 及 年 今 用 自 客 畑	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	(成)	4 共 国 为 音	大気質に係る有害物質等	粉じん	炭化水素	浮遊粒子状物質	二酸化硫黄又は硫黄酸化物	二酸化窒素又は窒素酸化物						
> *		C	)													ণ্ড								V											0								Ē	+		0		0		0				0	<u> </u>		対象要要の変更を変更を	7# an ##		
> * 2		C	)																																											0		0		0				0		行	発生を対して	** ++ **	4	
> * !>		C	0	(	) C	0																								0												0								0							造成等の上	¥ ₹ 1	高層建築物	
						(	Э (	0	0	△*1	△ * 1		<b>(</b> -	0	> <b>*</b>	.	> <b>*</b> 1	0	> * 1	-X-	△*1									0																											数地及び遍設の存在	# 11 TI 48 #	後	
			) (	Э		)																																																			語 段の 装舗及び人の担	当の計画	# # #	
		C	)																																											0		0			0	0		0			日野甲父迪の発生	ጉ ይ ት		

○:標準的に遷定する項目 △:事業特性、地域特性により遷定する項目 \*1:立地条件による \*2:放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表 3 — 7 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(住宅団地・区画

#### 整理)

Table   Ta							項目	△:事業特性、地域特性により選定する項目	する項目	<ul><li>○:標準的に選定する項目</li></ul>
1.					*	*	*	放射線の量	放射線の量	一段環境中の放射在 物質について調査、 予測及び評価される
1		(			(	(	(	× !	半り	
1.	0 0				0	0	0	開かららに生か。 温室効果ガス	掛谷	が はっとう これ べつ が が はん かん
1. 日本代					0			授士 雨水及1%如理水	発集物等	環境への負荷の量の程度により予測を1%
19   19   19   19   19   19   19   19	0	0			0			廃棄物		
1.10   1.00								局所的な風の発生状況	風害	
1								電波受信状況	电测阻音	
日本の主義   日				0				<b>埋藏文代界</b> □ 駅 6 4 4 3 1	3 22	予測及び評価される べき項目
1				0				指定文化財等		全を旨として調査、
	*	□	0	0		0		自然とのふれあいの場		ふれあいの確保及び 快適な生活環境の保
1				0.				班 望景観		人と自然との豊かな
1				0				景観資源 (目然的景観資源及び歴史的 景観資源)	景観	
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	*	⊳		0		0		地域を特徴のける生態系	生態系	10000000000000000000000000000000000000
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1								緑の量		査、予測及び評価されるべき項目
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1				0	0			すべき	植物	的保全を盲として調
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	4			0 0	0	C		保全すべき種	90 400	生物の多様柱の確保及び自然環境の体系
1日   1   1   1   1   1   1   1   1   1		>		0				表土の状況及び生産性	St. III.	
1日   1   1   1   1   1   1   1   1   1				0				含む。)	港樂	
19   工事				C	C			土造の水丘耳    塩形及び基質(無限な塩形及び基質を		
1   1				) *	)			<b>地棚だ下</b> 十基の分が存	连棘	
1								土壌に係る有害項目	土壌	
1								水門、ダム		
工事				D .				温泉及び鉱泉	水象	
1				> 6 5						
1								質 場下水の水臭に味の有音块		
1   1   1   2   2   2   2   2   2   2								下水の単元より上部におった中心		
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1								酸素消費量		
1		_						過マンガン酸カリウムによ		
工事		+						強熱減量		
上毛田地・区間歌班   存在・供用   存在・供用								活環境項	水質	さんべき 単三の
工事									1. 500	保帯や回ってに鑑体 小当のご別信と
田田の区分								_		環境の良好な状態の
田の区分								大道		
田の区分					(			1 強		
田の区分	0							学的酸素與水量		
田の区分		+						特定患臭物質		
田の区分								気指数又は	悪臭	
Tay						0	0		振動	
田の区分								低周波音		
田の区分		□				0	0	1	・低周	
田の区分					(	(	(	に係る有害物		
田の区分		+						灰化水素 粉15.6/		
国の区分   工事   日の区分   正事   存在・映用   日の区分   振光   東東影響要国の何 権 設機 (表 等の工 造成地の存 植設の存在 居住施設の 繁務用施設   京湖・評価の項目   二酸化紫素又は紫素酸化物   〇 ○ ○ ○   二酸化碳素又は碳素酸化物   ○ ○ ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○   ○								浮遊粒子状物質	大気質	
国の区分								二酸化硫黄又は硫黄酸化物		
国の区分						0	0	二酸化窒素又は窒素酸化物		
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学										手護・
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	E.	共用の供		弁	#	の 車両の走 行	麥			
「	用施設自	音住施設の 業務	施設の存在	造成地の存	造成等の工	章	雑設機械の			労権を対立の行び
		9. 弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1		<b>⊣</b>				明

<sup>\*1:</sup> 總市的地域の場合
\*2: 米田地帯に立場する場合
\*2: 米田地帯に立場する場合
\*3: 商業施製等、業務施設の内容による
\*4: 職者を任じる施設であって、自然的地域の場合
\*5: 放射在物質が相当極度抗散・流出するおそれがある場合

別表 3-8 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(工業団地・流通

#### 業務施設)

〇:標準的に選定する項目	一段環境中の放射症 物質について調査、 対当及び評価される がま項目	×	Fi	対角される人が過回 道	出作による 大き ほって	遊遊への合 排の 申の 廃		画画	商	ш	予測及び評価される財	金を旨として調査、史	やれめいの編保及び 甲状臓な生活 環境の保 れ	人と自然との明かな	74	神館		れるべき項目	四条州や町かし へ題 複数権・予道及 1%群 痛え	及び自然環境の体系	生物の多様性の確保動物			善参		善	H	1	***	÷							i di	香、予測及び評価さ 水質	保存や盲として超	環境の良好な状態の					强	in	i S	- 300			>	+			調査・予測・評価の項目			労権状型の可以
する項目	放射線の量	等	1 年 20 来 20	*		廃棄物等		빠	電波障害	照阻害	村	跡・文化	れあいの場	* * 9 r			生態系		100		490			验		地盤	土壌		36	t.								質							臭	507 300	\$ II	顯音· 低周 语序			> × ×	it et						
△:事業特性、地J	放射線の量	オンン層破壊物質	一川田田田	当代文の文字は	4 m 10 37 位 4 国	戏士	廃棄物	局所的な風の発生状況	電波受信状況	日影の状況		指定文化財等	自然とのふれあいの場		異なり (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	東魏政治 ( 田然 四部 名)	地域を特徴つける生態糸	第5世 年 年 ル ユマ	祖生及び保全すべき群落	宋出すべき祖	とすべる	表土の状況及び生産性	# 十分 # 省 # 7 # 4 ·	が、現場を	土地の安定性	地盤沈下	土壌に係る有害項目	堤防、水門、ダム	温泉及び鉱泉	地下水の水位及び水脈	能量、	を		聚	原質 過トンス	強熱減量	健康項目等	その色の	溶存酸素量	*	公共用水大油	粉粉刀	学的酸素要	生物化等	特定悪臭物質	製気指数又は臭気の濃度	<b>克西淡</b> 可			物じん	炭化水素	浮遊粒子状物質	二酸化硫黄又は硫黄酸化物	二酸化窒素又は窒素酸化物	/	/		
△:事業特性、地域特性により選定する項目								状況					の締			(自然的景観資源及び歴史的		-	さ罪器			単住	144. USA	(重要な地形及び地質を				ム等の施設		水脈	流速及び水位	地下水の水質に係る有害項目	2000年1日12日12日12日12日12日12日12日12日12日12日12日12日12	(H	ガン酸カリウムによる # E	k	3 4 1	の他の生活環境項目	量	紫イオン濃度	7.75%	※	(要水量	生物化学的酸素要求量又は化		の藤畑			物質等	11. 100. 100.			黄酸化物	<b>素酸化物</b>			環境影響要因の例	
項目	△* 6		C	)																																										C	)	0		0			1	0		被 害	建設機械の	
	> * 6		C										0				C				C	)																								C	)	0		0			1	0		の車両の走行	最料重報等	
	▷ * 6		C		(	0	0												0	С	)				0																	(	0							0						#	造成等の工	
											0	0	0			0	0	) *	. 0	С	0	0	)	0	0					△*3																										在	造成地の存	
									0	0			0			0															0																										重設の存在	
		△*5	C				0						▷ <b>*</b> 2														0					0	(	)			0				(	Э	(	Э		0 0	) C	0	0			0	0	0		工業団地	施設(	
			C	) (			0						> * 2																															> * 4											X	流通業務施	施設の稼働	
			C		1																													l												C	)	0			0	0		0		Н	自動車交	
			C																																											C	)	0			0	0		0	×	流通業務施	自動車交通の発生	

別表 3 9 環境影響要因と調査・ 予測・評価の項目との関連表 (研究所・学校)

事業の種類							研究所・学校	**		
影響要因の区分										
			環境影響要因の例	海坂巌波の御郷	資材運搬等 の車両の走	造成等の工事	造成地の存在	権造物の存	学校・年光期の容飾	自動車交通の発生
調査・予測・評価の項	III	ı			Ī					
		二酸化窒素	酸化窒素又は窒素酸化物	0	0					0
		二酸化硫黄又は	.酸化硫黄又は硫黄酸化物							
	大気質	炭化水素								
		ツコ陽		0	0	0				
	· 田 田	大気質に例	大気貨に係る有害物貨等	)					>  > * *	)
		低周波音		(	(				1	
	被動	振動		0	0				> * 3	0
	無	臭気指数又特定悪臭物	臭気指数又は臭気の濃度特定悪臭物質						> × × 3	
			生物化学的酸素要求 量又 は化						0	
			字 进 物 質 量			0				
		‡ #	蜜素及び燐							
		公共五米夷の水質	水温							
採売5尺年4大限5 保存を冒として置			次※442家及 浴片器掛申							
ΩŁ	水質		その他の生活環境項目							
			健康項目等						≥ * 3	
		所質	過マンガン酸カリウ ムによる 酸素消毒量							
			底質に係る有害物質等						<b>△</b> * 3	
		地下大の水質な	地下水の水質に係る有害項目						> * 3	
		河川等の流量、	5量、流速及び水位				0			
	水樂	地下水の水位	地下水の水位及び水脈 温泉及び飲泉				△*2			
		堤防、水門、	1、ダム等の施設							
	H·····································	土壌に係る有害項目	有害項目							
	送	地盤びに	()			0	0 *2			
	苦樂	地形及び地質	也質(重要な地形及び地質を				0			
		表土の状況	の状況及び生産性				0			
生物の多様性の確保	更多	保全すべき種	稚		0	)	0			
及び世然採売の存米的保全を買って調	苗	権生及び保	R 土 ) 、 c 塩 植生及び保全すべき群落			) c	) (			
査、予測及び評価さ		量の縁					△*1			
れるべき項目	生態系	集体を溶明	ける生態系		0		0			
	景観	景観資源(自)景観資源)	(自然的景観資源及び歴史的				0			
人と自然との豊かな		聯景監測						0		
ふれあいの編保及び 存遍な年活 蒔苺の床	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの	れあいの場		0		0			
金を育って調査、	史跡・文化 財	指定文化財等	- 4				0			
べき項目	田瀬岡哨	日影の状況					(			
	電波障害	電波受信状況	: 37.							
	風害	局所的な風	局所的な風の発生状況			)				
自辞の罪の	落業物等	残土				0 0			C	
程度により予測及び		雨水及び処理水	. 理水						0	
ى ئى ئى	温室効果ガ ス等	温室効果ガスオソン層破壊物質	( 本 物質	0	0	0			0	0
放射性調査、	放射線の曲	か射線の量		> <b>*</b> 4	> * 4	> * 4				
予測及び評価される べき項目 〇・繭錐的に繰り	,	. 3	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1		-				
〇:標準的に選定する項目		△:⊭無な	事業特性、地域特性により選定する項目	角田						

○:標準的に選定する項目 △:事業特性、地域特性により選 \*1:都市的地域の場合 \*2:水田地帯に立地する場合 \*3:研究施設等の内容による \*4:放射住物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合 より選定する項目

別表 3-10 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(スポーツ又は

# レクリエーション施設、墓地又は墓園)

事業の種類						Х	ボーシスはフクリエーション捕殺、	リエーショ	ン施設、墓地又は墓園	は整圏			
影響要因の区分				14.1					存在・供用	; <b>用</b>			
		環境影響要因の例	建設機械	資材通搬	造成等の工事	造成地の	構造物の		施設の供用	1	農薬の使		)発生
		/	の表演	等の単回の走行	#	存化	スポーツ又は レ ク リ Hー	整を又は	スポーツ又は レ ク リ エー	樹地又は、		スポーシ又はアクリエー	期地又は
調査・予測・評価の項目	項目						ション施設		ション施設			ション施設	
		二酸化瓷素又は瓷素酸化物 一醇化碳 苗叉 过磁 苗 静化物	0	0								0	0
	1	浮遊粒子状物質											
	MXX	炭化水素											
		粉 じん 大気質に係る有害物質等	0	0	0								
	騒音・低周	騒音	0	0					0			0	0
	遊	低周波音											
	競賣	地 作品 まんごと かんり 美日	0	0								0	0
	强火	※30.11数人は※30.00歳度 特定無臭物質											
		生物化学的酸素要求量又は化							0				
		学的酸素要求量			Э								
		#83 J			(								
		2000 大田 水田 東の水館 水田											
環境の良好な状態のほまな。アーノ曲		4											
査、予測及び評価さ	大質	谷庁政会員その他の生活環境項目											
れるべき項目		健康項目等									0		
		底質 過タンガン酸カリワムによる 酸素消費量											
		底質に係る有害物質等											
		ルド 水の 地下水の水質に係る有害項目 水質									0		
		河川等の流量、流速及び水位					0						
	米余	地下水の水位及い水脈 温泉及び鉄泉											
		堤防、水門、ダム等の施設											
	土壌	土壌に係る有害項目											
	<b>芭</b> 鹅	お観光 下土 基の分別者			)	)							
	善養	地形及び地質(重要な地形及び地質を			(	0 (							
		表土の状況及び生産性				0							
生物の多様性の確保	動物	保全すべき種		0		0			0		0		
及び自然環境の体系		保金すべき種			0	0			△ * 2		0		
密保金を回って 八臓 神 ・半道を 18算 値が	養物	植生及び保全すべき群落。			0	. 0			△ * 2		0		
れるべき項目	生態系	地域を特徴づける生態系		0		0 *			0		0		
	D# 45	景観資源(自然的景観資源及 U歴史的 墨細容額)				0							
A マロネッ の事 さな	75. 196	眺望景観					0						
なれあいの 編架 及び 者後な 年洋 藤春 そほ	自然とのふれるいの場	自然とのふれあいの場		0		0			0				
金を旨として調査、	史跡・文化	指定文化財等				0							
予測及び評価される	37	<b>坦蕨文化財</b>				0							
N N		日際の状況											
	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	局所的な風の発生状況											
					0				0	0			
概拠への負結の 順のはそご マスル	嘉莱物等	残土			0				)				
評価されるべき項目	温室効果ガ	担主効果ガス	0	0	0				0 0			0	0
	ス等	オソン層破壊物質											
一般環境中の放射性 物質について調査、 予測及び評価される	放射線の量	放射線の量	⊳ * 3	⊳ * ω	⊳ * ω								
べき項目 ○:標準的に選定する項目	定する項目	△:事業特性、地域特性により選定する項目	項目										

<sup>\*1:</sup> 都市的地域の場合
\*2:自然的地域の場合
\*2:自然的地域の場合
\*3: 放射在物質が相当程度拡張・適田するおそれがある場合

別表 3 — 1 1 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表(浄水施設、変

電所)

物質について調査、 予測及び評価される べき項目	一般環境中の放射性	手言のどの 八日 女正	程度により予測及び	環境への負荷の量の				べき項目	予測及び評価される	全を旨として調査、	それめいの 編束及び 供適な生活 環境の保	人と自然との動かな			れるべき項目	査、予測及び評価さ	的保全を旨として調	11 20 20 多茶石の電子	干香 ) 公務 年 ) 路台													E S	香、予測及び評価さ れるべき届日	<b>余本や回ってん</b> 體	前市の四古な中僚の														The Table at the Annual Control of the Annua	盤枝・水盖・均角の石田	/	影響吸囚の区分	事業の種類
放射線の量		温室効果ガス等		廃棄物等		運曲	電波障害	害國題目	財	史跡・文化	れあいの場	中 余 ア ラ い	崇觀		生態系		植物		想参		善樂		地鄰	十續		水옞							大質							悪臭	扱動	î î	騒音・伝周波音			)	+ 41 48		, i	E E			
放射線の量		温室効果ガス	雨水及び処理水	残土	廃棄物	局所的など	電波受信状況	日影の状況	埋藏文化財				京観貨源)	景観資源	地域を特征	暑の最	植生及び保全す	保全すべき種	保全すべき種	表土の状と	超形及び期 合む。)	土地の安定性	地盤沈下	土壌に係る	堤防、水門、	温泉及び鉱泉	選りまりま	<b>大</b> <b>1</b>			百賀				×	公共用水				特定悪臭物質	· 按则	×	短用进音	大気質にも	物じん	炭化水素	浮遊粒子状物質	二酸化硫氮	二聚化甾	/	/		
		効果ガスン層破壊物質	0. 四. 水			局所的な風の発生状況	<b></b>	R.	dt.	/ 等	自然とのふれあいの場			景観資源(自然的景観資源及び歴史的 <sup>星組炎海)</sup>	地域を特徴づける生態系		<b>呆全すべき群落</b>	8.植	3. 桶	表土の状況及び生産性	地質(重要な地形及び地質を	#		土壌に係る有害項目	門、ダム等の施設	5.	国工学の発揮、高速及の外位署下来の水位及び水量		華州 本色 中部 マなった 中角 田	底質に係る有害物質等	過トンガン敷カリウムによる 雰帯消費車	健康項目等	その他の生活環境項目	溶存酸素量	水根イナン維用	金素及び 体	学 应 物 質 重	学的酸素要求量	生物化学的酸素要求量又は化	勿質	技男 日本学 ▽ 汗ョムの 維用			大気質に保る有害物質等 25 4	* or		大物 質	酸化硫黄又は硫黄酸化物	聚化维素又は维素聚化物		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	環境影響要因の例	
		0																																							С	)	С	)	0			(	Э		麥	雑説機械の	
		0									0				0				0																						С	)	С		0			(	О	11	の単両の走	4年一年	
		0		0	0												0	0				0															С	)							0						# (	造成等の工	
									0	0	0			0	0	△ * 1	0	0	0	0	0	0																													一角	造成地の存	<b>净水</b> 瓶設
												C															C																								浄水:		<b>浄水施設、変電所</b>
																																																			変電所	存在・採用構造物の存在	1 1 1 1
		0			0																																				С	)	С	)							浄水施設	游 提 。	
		0					0																																				С	)							変電所	語段の敬奪	

<sup>○:</sup>標準的に選定する項目 △:事業特性、地域特性により選定する項目 \*1:都市的地域の場合 \*2:放射性物質が相当程度拡散、流出するおそれがある場合

事業の種類						土石の採取		
影響要因の区分			前本映織国田の室	世界の第2十	丁作物・機械	_	_	次市 異善の女
			派起影響衆囚の宮	五石等の採取場の存在	土作物・核疾類の存在	王石の宋及江巡(風巌弾の海 寒 寒 や や	エセの単裁甲両の走行	女 多 当 ら 年
調査・予測・評価の項目						む。)		
		二酸化窒素	酸化窒素又は窒素酸化物				0	
	e I i .	二酸化硫黄又は	覚又は硫黄酸化物 ^ Addu lift					
*:	大奴質	現化水素	78 X			0	0	
	اعدا	粉じん				0		
I	XI.	大気質に係	大気質に係る有害物質等					
<b>車</b> 4 4 4	・低周	中 田 田 市 古 田 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市				0	0	
では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		振動				0	0	
<b>囲</b> 【		臭気指数区	臭気指数又は臭気の濃度					
i ii		特定悪臭物質						
			生物化学的酸素要求 量又 は化学的酸素要求量					
			浮遊物質量			0		
		# # *	窒素及び燐					
	<u></u>	英の水質	É					
条名の以外 4 久頃の			次					
査、予測及び評価さ 水質れるべき項目	淵		その他の生活環境項目					
			健康項目等			0		
		原質	過マンガン酸カリウムによる					
			医質に係る有害物質等					
		地下水の	地下水の水質に係る有害項目					
	and to	河川等の流量、	1量、流速及び水位					
<b>米</b> •		也下水のオ	地下水の水位及び水脈					
	I	道米及い拠米 堤防、水門、	1、ダム等の施設					
<b> </b>		1.1				0		
地盤		地盤沈下	, Att.			)		
	. 1	土地の女圧住	1 一・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	С		С		
<b></b>		地形及び地含む。)	3 寅(里要 公地形及 い地 寅を	0				
			土の状況及び生産性					
生物の多様性の確保動物		保全すべき種保全すべき種	番番	0		0	0	0
的保全を旨として調 植物		植生及び保全す	全すべき群落	0		0		0
金、予測及び評価されるべき項目 作	子 宗 出	装の脚を存め	緑の量 基病が転衛ズ汗ス件振ぶ			)		
Į.		景観資源	(自然的景観資源及び歴史的	0 (		(	(	(
- アロネア う用 ささ		<b>张望景観</b>		0	0			0
ハーコミー ション きなれあいの確保及び自然	自然とのふ	当然とのる	自然とのふれあいの場	0		0		0
不識といい。		指定文化財等	1等	0				
予測及び評価される財		埋藏文化財	<u> </u>	0				
		田家の状況	2.					
画	1	<b>司所的な</b> 属						
		廃棄物				0		
の負荷の量の	廃棄物等	残土	user I.					
	H ±	雨水及び処埋水温を効果ガス	1.埋水			)	)	
×		× 1	ン層破壊物質			(	(	
一般環境中の放射性								
	放射線の量!	放射線の量	k			△ * 1	△ * 1	

項目
○:標準的に遜定する項目 △:事業特性、地域特性により遜定する項目
※1:放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

第一  $\mathcal{O}$ 別表五に次のように加える。

性物質について留意 されるべき配慮事項 般環境中の放射  $\vdash$  $_{\text{C}}^{\circ}$ 放射性物質の拡散・流出による影響の回避又は低減

に努め  $\mathcal{O}$ 1

第 <del>\_</del>  $\mathcal{O}$ 別表六に次のように加える。

一般環境中の放射	$\vdash$	放射性物質を含む粉じんの発生を抑えること。
性物質について留意	2	放射性物質を含む表土の降雨による水の濁りの発生
されるべき配慮事項	ω	放射性物質を含む廃棄物や建設発生土の発生を抑え
	4	放射性物質の拡散・流出の防止に努めること。

を拡え  $\mathcal{O}$ 1  $_{\circ}^{\circ}$ 

 $\mathcal{N}$ 1 · (~

第二に次 のように加える。

- 21 放射線の量
- $\widehat{1}$ 対象とする調査・ 予測・評価の項目
- $\widehat{\Omega}$ 調剤

放射線の量

- 調査内容
- 9 放射線の量の状況 (空間線量率等によって把握されるもの)
- その他の予測・評価に必要な事項
- 気象の状況

風向・風速、 大気安定度 (日射量、 雲量又は放射収支量) 気温等

- Ъ 大気の移流、 拡散等に影響を及ぼす地形・地物の状況

水質その他の水に係る環境の状況

Д 水域利用の状況 С

水象、

Φ 対象事業等実施区域の土地改変の履歴

び住宅の分布状況 学校、 病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設及

### イ 調査方法

既存資料の収集又は現地調査により行う。

## ウ 調査地域・地点

## (7) 調査地域

H る地域 事業を実施す Ю (1  $\wedge$ F7 ٦ , 2 放射線に 係る 環境影響を受けるおそれが

## (4) 調査地点

4  $\mathcal{O}$ 放射線に 1 とができ 9- $\mathcal{O}$ 赆  $\omega$ 地点 響の予測・ 評価に必要な内容を適切かつ効果的に把握

## エ 調査期間・頻度

1 放射線に とがで 14 ٦ Ø  $\mathcal{N}$ ·期間· 鱜 の予測 頻度 評価に必要な内容を適切かつ効果的に把握す

#### (3) 予測

## ア 予測内容

放射線の量の変化の程度

#### イ 予測方法

予測は次に示す方法のうち適切な方法を用いて行

- 7 保全対象における放射線量が上昇しないか定性的に予測す N 手法
- $\subseteq$ B 手法 環境保全措置を見込まない場合 と環境保全措置を講じた場合を比較す
- (ウ) 類似事例又は既存知見に基づく推定

#### ウ 予測条件

# (ア) 事業特性に係る条件

土地改変計画、工事計画、埋立計画等

# (イ) 地域特性に係る条件

- a 放射性物質の拡散に影響を及ぼす気象の状況
- 風向・ 風速、大気安定度 (日射量、 雲量又は放射収支量) 気温等
- b 大気の移流、拡散等に影響を及ぼす地形・地物の状況
- c 水象、水質その他の水に係る環境の状況
- (ウ) その他の予測・評価に必要な条件
- 水域利用の状況
- Ъ **学校、** 病院その他の環境の保全に ついての配慮が特に必要な施設及

び住宅の分布状況

- С 将来の放射線の量の状況 (対象事業等以外の要因による変化)
- エ 予測地域・地点
- (ア) 予測地域

放射線による影響が及ぶおそれがあると認められる地域

(4) 予測地点

放射線による影響を的確に把握することができる地点

- 才 予測対象時期等
- (7) 工事

放射線による影響が最大となる時期

(1) 存在・供用

事業活動等が定常状態となる時期

(4) 評価

次に示す観点から評価する方法

低減されているかどうかを明らかにする。 放射線量の上昇が、事業者等により実行可能な範囲内で回避され、 X It